



2024年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社ホットリンク 上場取引所 東
コード番号 3680 URL <https://www.hottolink.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 内山 幸樹
問合せ先責任者（役職名） 執行役員 CFO（氏名） 福島 淳二（TEL） 03-6261-6930
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,171	3.3	25	△52.6	137	80.8	87	69.6	87	69.6	275	—
2023年12月期第1四半期	1,134	△29.3	54	△18.3	76	—	51	—	51	—	△2	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2024年12月期第1四半期	円 銭 5.56	円 銭 —
2023年12月期第1四半期	3.30	3.29

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2024年12月期第1四半期	百万円 8,721	百万円 6,412	百万円 6,412	% 73.5
2023年12月期	8,490	6,137	6,137	72.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者 に帰属する当期 利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	4,503	△5.0	172	△21.9	180	△37.1	93	△58.9	93	△58.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期1Q	15,965,800株	2023年12月期	15,965,800株
2024年12月期1Q	280,215株	2023年12月期	280,215株
2024年12月期1Q	15,685,585株	2023年12月期1Q	15,587,029株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結財政状態計算書	5
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結包括利益計算書	7
(4) 四半期連結持分変動計算書	8
(5) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、地政学リスクに加え、米国のインフレ懸念等を背景とした世界経済の先行きに不透明さが増すなか、当社では国内外の異なる事業にそれぞれ注力するポートフォリオ経営を実践することで外部環境の影響を受けにくい事業構築を目指してまいりました。

ソーシャルメディアマーケティング支援事業は、SNSマーケティング市場の拡大を背景とした底堅い企業ニーズを背景に、当社の強みであるSNS上のビッグデータの収集・分析・活用をワンストップ提供で顧客企業に提供することで顧客との価値共創を実践しております。

加えて、当社ではWeb3の市場拡大を予想し、2018年からWeb3の基盤と位置付けられるブロックチェーン技術の調査・研究をWeb3関連企業や事業への投資を通じて行ってまいりました。足元では、既存事業であるソーシャルメディアマーケティング支援事業で培ってきた顧客ニーズと投資活動で獲得したWeb3市場の知見を掛け合わせることでWeb2とWeb3が融合するような新たな取り組みも立ち上がりつつあります。今後もWeb3業界におけるグローバルネットワークの構築を通じ、自社事業とのシナジーの創出にも積極的に挑戦してまいります。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

(ソーシャルメディアマーケティング支援事業)

「ソーシャルメディアマーケティング支援事業」は、SNSマーケティング支援事業とDaaS事業の2つの事業区分により構成されております。

a. SNSマーケティング支援事業

当事業は、主に日本国内向けのSNSマーケティング支援から成り立っており、その主なサービスは、SNS広告・SNS運用コンサルティングと、SNSの分析ツールである「クチコミ@係長」などがあります。これらのサービスは、当社が保有する膨大なデータと、長年に亘り蓄積してきたSNS分析・運用ノウハウを用いるだけでなく、分析から施策立案、効果測定までを一気通貫・ワンストップでサポートするなど、競争優位性が高いものになっております。

当事業の売上高は550百万円（前年同期比2.0%減）となりました。SNS広告・SNS運用コンサルティングにおいては、新たなSNS運用の手法や顧客のすそ野の拡大もあり、業績は堅調に推移しております。今後のリスクとしては、円安や原材料高の影響による顧客企業の販管費抑制・SNS運営企業の経営方針の変更によるSNS運用を取り巻く環境の変化があげられます。当社では、採用等を積極化させることで外部環境の変化に柔軟に対応できる組織体制に加え、新たなサービスラインナップの拡充を通じ、業界・顧客ニーズの変化を成長機会と捉え当事業の運営を行ってまいります。なお、SNS分析ツールについては、「選択と集中」を加速させ顧客ニーズの高いSNS広告・SNS運用コンサルティングに営業人員を集中させたため、売上高は前年同期と比較し減少となりました。

b. DaaS事業

当事業は、当社の米国子会社であるEffyis, Inc. の主にSNSデータアクセス権の販売から構成されております。

当事業の売上高は621百万円（前年同期比8.5%増）となりました。背景には、継続して取り組んできたSNSデータアクセス権の価格改定の浸透（顧客の単価上昇）や解約防止、新規顧客の開拓、及び円安があげられます。当社の米国子会社であるEffyis, Inc. は引き続き、世界中のソーシャル・ビッグデータを保有するメディアとの間で良好な関係維持に取り組み、安定したデータ提供や新規メディアからのデータアクセス権の契約を獲得しているほか、生成AIを始めとする新市場に対する新サービスの提供へも注力してまいります。

(Web3関連事業)

当事業は、Web3関連への投資を行うものであり、Nonagon Capitalを通じてWeb3分野への投資・運用がその主なものです。Nonagon Capitalは、投資収益・投資事業収益の獲得だけでなく、グループ全体におけるWeb3分野でのシナジーや新事業創出のための知見を深めることも目的としております。当第1四半期連結累計期間では、投資先の調査、選定及び出資が主な活動であり、当事業の売上高は発生しておりません。なお、Web3関連市場のボラティリティが高まる中で、長期的な視点を持った投資を分散して行うことによりポートフォリオの安定と成長の両立の実現へ全力を尽くしてまいります。

セグメント別売上高

セグメント名	サービスの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	
		売上高(千円)	前年同期比(%)
ソーシャルメディア マーケティング 支援事業	SNS分析ツール	96,678	88.0
	SNS広告・SNS運用コンサルティング	453,513	100.5
	SNSマーケティング支援事業	550,192	98.0
	DaaS事業	621,793	108.5
	小計	1,171,986	103.3
Web3関連事業		—	—
合計		1,171,986	103.3

以上の結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高1,171百万円（前年同期比3.3%増）、売上総利益350百万円（前年同期比6.8%減）となりました。販売費及び一般管理費は333百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は25百万円（前年同期比52.6%減）となりました。

金融収益は114百万円（前年同期比333.3%増）となり、税引前四半期利益137百万円（前年同期比80.8%増）、四半期利益87百万円（前年同期比69.6%増）となりました。EBITDAは、127百万円（前年同期比24.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、4,308百万円となり、前連結会計年度末に比べて68百万円増加いたしました。この主な要因は、売掛金の減少などにより営業債権及びその他の債権が146百万円減少した一方で、現金及び現金同等物が205百万円増加したこと、前払費用の増加などによりその他の流動資産が10百万円増加したことによるものであります。

(非流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における非流動資産の残高は、4,412百万円となり、前連結会計年度末に比べて162百万円増加いたしました。この主な要因は、使用権資産が24百万円減少した一方で、のれんが93百万円増加したこと、ソフトウェアなどのその他の無形資産が59百万円増加したこと、有価証券の時価評価等の影響によりその他の金融資産が35百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,002百万円となり、前連結会計年度末に比べて17百万円減少いたしました。この主な要因は、借入金が11百万円増加、未払法人所得税が10百万円増加した一方で、リース負債が26百万円減少したことによるものであります。

(非流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における非流動負債の残高は、1,306百万円となり、前連結会計年度末に比べて27百万円減少いたしました。この主な要因は、繰延税金負債が29百万円増加した一方で、借入金37百万円減少、リース負債が11百万円減少したことによるものであります。

(資本合計)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計の残高は、6,412百万円となり、前連結会計年度末に比べて275百万円増加いたしました。この主な要因は、有価証券の評価換算差額や海外子会社の財務諸表の為替換算調整等によるその他の資本の構成要素が167百万円増加したこと、利益剰余金が108百万円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて205百万円増加し3,700百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、230百万円（前年同期は2百万円の増加）となりました。この主な要因は、税引前四半期利益137百万円に始まり、営業債務及びその他の債務の減少21百万円、その他の流動負債の減少13百万円、非資金項目である金融収益114百万円の調整により資金が減少した一方、売掛金の減少等による営業債権及びその他の債権の減少157百万円、非資金項目である減価償却費及び償却費102百万円の調整により資金が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、56百万円（前年同期は363百万円の減少）となりました。この主な要因は、投資有価証券の売却による収入39百万円により資金が増加した一方、無形資産の取得による支出90百万円により資金が減少したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、44百万円（前年同期は39百万円の減少）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出26百万円、リース負債の返済による支出17百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,495,505	3,700,715
営業債権及びその他の債権	672,772	525,943
未収法人所得税	7	7
その他の流動資産	72,045	82,254
流動資産合計	4,240,332	4,308,921
非流動資産		
有形固定資産	28,881	27,982
のれん	1,615,948	1,709,684
使用権資産	402,009	377,018
その他の無形資産	744,975	804,005
その他の金融資産	1,458,321	1,493,909
非流動資産合計	4,250,135	4,412,599
資産合計	8,490,467	8,721,521
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	132,601	143,797
営業債務及びその他の債務	574,600	566,558
リース負債	80,589	53,636
未払法人所得税	40,859	50,984
その他の流動負債	191,127	187,529
流動負債合計	1,019,778	1,002,505
非流動負債		
借入金	639,634	601,660
リース負債	330,511	318,958
繰延税金負債	344,434	373,871
その他の非流動負債	18,715	11,722
非流動負債合計	1,333,294	1,306,212
負債合計	2,353,073	2,308,718
資本		
資本金	2,438,859	2,438,859
資本剰余金	2,963,469	2,963,469
利益剰余金	804,429	912,496
自己株式	△140,216	△140,216
その他の資本の構成要素	70,852	238,194
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,137,394	6,412,802
資本合計	6,137,394	6,412,802
負債及び資本合計	8,490,467	8,721,521

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,134,161	1,171,986
売上原価	△757,384	△821,006
売上総利益	376,777	350,980
販売費及び一般管理費	△323,166	△333,181
その他の収益	757	7,801
その他の費用	△302	△0
営業利益	54,064	25,600
金融収益	26,488	114,766
金融費用	△4,466	△2,799
税引前四半期利益	76,087	137,567
法人所得税	△24,657	△50,341
四半期利益	51,429	87,226
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	51,429	87,226
四半期利益	51,429	87,226
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	3.30	5.56
希薄化後1株当たり四半期利益	3.29	—

(3) 四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期利益	51,429	87,226
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する金融資産	△67,105	8,117
純損益に振り替えられることのない項目 目合計	△67,105	8,117
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	13,524	180,064
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	13,524	180,064
その他の包括利益合計	△53,581	188,182
四半期包括利益	△2,152	275,408
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△2,152	275,408
四半期包括利益	△2,152	275,408

(4) 四半期連結持分変動計算書

(単位：千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の所有者 に帰属する 持分合計	資本合計
2023年1月1日残高	2,427,759	2,952,369	577,825	△140,216	130,004	5,947,742	5,947,742
四半期利益	—	—	51,429	—	—	51,429	51,429
その他の包括利益	—	—	—	—	△53,581	△53,581	△53,581
四半期包括利益	—	—	51,429	—	△53,581	△2,152	△2,152
新株の発行(新株予約権の行使)	2,200	2,200	—	—	—	4,400	4,400
所有者との取引額合計	2,200	2,200	—	—	—	4,400	4,400
2023年3月31日残高	2,429,959	2,954,569	629,254	△140,216	76,423	5,949,989	5,949,989
2024年1月1日残高	2,438,859	2,963,469	804,429	△140,216	70,852	6,137,394	6,137,394
四半期利益	—	—	87,226	—	—	87,226	87,226
その他の包括利益	—	—	—	—	188,182	188,182	188,182
四半期包括利益	—	—	87,226	—	188,182	275,408	275,408
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	20,840	—	△20,840	—	—
所有者との取引額合計	—	—	20,840	—	△20,840	—	—
2024年3月31日残高	2,438,859	2,963,469	912,496	△140,216	238,194	6,412,802	6,412,802

(5) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	76,087	137,567
減価償却費及び償却費	114,781	102,097
暗号資産売却益	—	△7,431
金融収益	△26,547	△114,373
金融費用	4,466	2,799
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△139,646	157,915
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	72,008	△21,696
その他の流動資産の増減(△は増加)	△8,593	△11,804
その他の流動負債の増減(△は減少)	△87,756	△13,959
その他	298	1,972
小計	5,097	233,088
利息の受取額	2,466	7,361
利息の支払額	△4,458	△2,791
法人所得税の支払額	△1,030	△7,702
法人所得税の還付額	—	700
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,075	230,655
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形資産の取得による支出	△80,029	△90,779
投資有価証券の取得による支出	△39,723	—
投資有価証券の売却による収入	—	39,208
事業譲受による支出	△243,000	△5,000
短期貸付の回収による収入	265	—
長期貸付の回収による収入	347	—
その他	△1,749	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△363,888	△56,568
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△26,778	△26,778
リース負債の返済による支出	△17,101	△17,916
ストックオプションの行使による資本の増加による収入	4,400	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,479	△44,694
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,360	75,817
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△394,931	205,209
現金及び現金同等物の期首残高	3,596,782	3,495,505
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,201,851	3,700,715

(6) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。